

令和 2 年度 第 1 回環境基本計画推進会議幹事会 各部局からの意見等に対する対応

1 【資料 1－3】沖縄県環境保全率実行計画（第 5 期）素案について

	部局名	委員意見（要旨）	頁	事務局対応
1	企業局	環境保全率実行計画と S D G s の関係はどうなっているか。	－	本計画はSDG s で示される17のターゲットの内、目標 7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標13「気候変動に具体的な対策を」について寄与するものである。 関連がわかりやすいように、計画中にロゴマークを記載する等対応する。
2	企画部	上水の使用量について漏水等を減らし10%削減するとあるが、コロナの影響により、手洗い等で使用する水の量も増えている状況のなか、これ以上の削減は難しいのではないか。	11	資料中では事務局案として2019年度比10%削減と記載しているが、当意見を踏まえ、令和 2 年度上半期における本庁舎の上水使用量から、コロナウィルスの影響による変化を踏まえるなど事務局で再検討を行い、改めて各部局の意見をいただいて最終的な目標値を決定することとしたい。
3	企画部	資料 1－3 11ページによると廃棄物発生量は増えているが、事務機や紙等のリサイクルを進めることによって、廃棄物量を減らすことができるのか。	11	資料 1－2 10ページに廃棄物発生量の内訳を記載しているが、近年の発生量の増加については「可燃物」の増加が大きな要因となっている。詳しい要因分析は行っていないが、近年の紙使用量の増加に伴い、本来古紙として分別されるべきであったものが可燃物として廃棄されている可能性がある。引き続き分別の徹底を推進しつつ、リサイクル率をモニタリングすることで全体の傾向を把握できると考える。

	部局名	委員意見（要旨）	頁	事務局対応
4	保健医療部	計画の目標については、令和元年度を基準年としているが、新型コロナの関係で、令和2年度と令和3年度の2年間の電気量等の使用量は上がると想定されるため、新たな生活様式を加味しないといけない部分が出てくるのではないか、最初の計画の段階または、来年、再来年の実績を踏まえ、中間見直しにおいて、生活様式がどういう形で影響していくかということも念頭に入れながら議論していく必要があるのではないか。	9	ご意見のとおり、令和2年度及び令和3年度の実績値は新型コロナウイルス対応に係る県施設の活動量の変化に伴い、温室効果ガスの排出量に増減があることが見込まれる。 計画本文中にコロナウィルスによる影響を注視することを記載し、5年後又は必要に応じて前倒して見直しを行い、基準年度や目標設定のあり方について柔軟に対応することとする。
5	商工労働部	紙類使用量の削減目標については、2019年度を基準年としているが、2019年度は2009年度に比べて紙の使用量が突出して増えているため、2019年度ではなく、2009年度を基準にするべきではないか。	11	資料中では事務局案として2019年度比10%削減と記載しているが、当意見を踏まえ、これまでの紙使用量増加の要因を可能な範囲で分析し、現案より高い目標を設定するよう事務局で再検討を行い、改めて各部局の意見をいただいて最終的な目標値を決定することとした。
6	企画部	取り組むべき環境配慮行動について、照明の箇所に晴天の時は窓際の電気は全て消すという取組も追加してもいいのではないかと。燃料については、バスやモノレール等の公共交通機関を使って公用車の稼働を減らす試みを行ってはどうか。テレビ会議システム等も活用して会議の回数を減らすと燃料削減につながるのではないかと。	13	ご提案いただきました件について、資料1-3p13の「取り組むべき環境配慮行動」中に記載する事を検討する。

2 【資料2－4】第3次沖縄県環境基本計画の策定について

	部局名	委員意見（要旨）	頁	事務局対応
1	人事委員会事務局	人間の経済活動が環境を一番破壊している。長時間労働の是正がテーマとなっているが、働けば働くほど環境が悪くなると考える。現行の環境基本計画では環境と経済が調和する社会づくりのボリュームが少なく、掲載も後ろになっているため、次期計画では、見直しをしてもいいのではないか。	－	働くことと環境とのつながりとしては、一連の事業活動によって環境への負荷が生じるが、例えば、テレワークによって通勤に伴う二酸化炭素排出量の削減が期待されるなど、働き方をはじめとしたライフスタイルを転換していくことにより、経済活動に大きなシグナルを与え、環境保全に寄与し社会変革を促していくことができる可能性があると考え。 次期環境基本計画では、本県の状況等も踏まえ、SDGsにおける「環境と経済、社会の統合」という考えに基づき、持続可能な社会の実現に向けた視点を取り入れるとともに、構成の見直しについても検討していきたい。
2	企画部	21世紀ビジョンのPDCAについて、今年度は新型コロナの影響等もあり、簡素化して実施した。今後も新たな振興計画及び沖縄振興特別措置法等の制度提案など色々な作業が出てくるため、簡素化してポイントを押さえてまとめることを検討している。環境基本計画のPDCAについてもポイントを押さえて実施してもいいのではないか。	－	次期環境基本計画の進捗管理については、新たな振興計画の評価点検方法等も参考にしながら、効果的かつ効率的な方法を検討していきたい。